

1、学習のねらい及び使用教材

- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。
- ・多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じとり、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。
- ・多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。

教科書：中学生の音楽2・3下、中学生の器楽（1、2年時から使用している）

2、評価の観点及び方法

音楽への 関心・意欲・態度	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽に対する関心を高め、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の授業態度 ・提出物 ・試験の一部の項目の点数から総体的に評価する。
音楽表現の 創意工夫	音楽がつくっている要素を感じ、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を理解しながら、ふさわしい音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・質問に対して、積極的に発言しようとしている。 ・試験の一部の項目の点数から相対的に評価する。
音楽表現の 技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの実技試験及び試験の一部の項目の点数から評価する。
鑑賞の能力	音楽をつくっている要素を感じ、それらの働きを生み出す特質や雰囲気を理解しながら、解釈したり価値を考えたりして、多様な音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞教材のときに、感想など書かせ、判断材料として評価する。

3、学習計画

各単元と主な内容		評価の具体例
1 学期	歌唱「花の街」 歌唱「旅立ちの日に」 鑑賞「曲の背景を知って名曲を味わおう」 「ポピュラー音楽」 アルトリコーダーアンサンブル 「星の世界」「木かげの思い出」	【 歌唱 】 ・歌唱活動に主体的に取り組もうとしている。 ・歌詞の内容を理解して、弱拍を生かした表現を工夫できている。 【 鑑賞 】 ・オーケストラの響きを味わいながら、作曲者の思いを感じ取ろう。 【 器楽 】 ・この曲のコール・アンド・レスポンスを意識して演奏できているか。
2 学期	歌唱「花」 歌唱「L-O-V-E」 歌唱「帰れソレントへ」 鑑賞「平調子 越天楽」「ブルタバ」 アルトリコーダー実技テスト 「家路より」「ハナミズキ」	【 歌唱 】 ・曲の感じに合った歌い方や発音を工夫している。 ・調や速度の変化を生かした表現を工夫している。 【 鑑賞 】 ・日本の伝統音楽に関心を示している。 【 器楽 】 ・日頃の成果を発揮できている。(止まらず、吹こうとしている)
3 学期	歌唱「校歌」「早春賦」 卒業式の歌取り組み 歌唱「蛍の光」 歌唱「大阪市歌」	【 歌唱 】 ・中学校3年間で学んだ総まとめを、実践できている。 ・卒業式に向けて、積極的に参加しようとしている。

4、学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書（2冊）、筆記用具は必ず持ってくる。 ・歌唱のときは、腹式呼吸を実践しているが、正しい姿勢でお腹から声を出すように意識する。 ・鑑賞教材のときは、感想を必ず書く課題をするので、自分が感じたことをまとめられるようにする。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃からたくさんのジャンルの音楽を聴くようにする。 ・j-popだけでなく、クラシックやジャズ、ラテン音楽など世界のたくさんの音楽をインターネット等で聴いてみる機会を持つ。